

## 色観察環境に新たな選択肢が加わる

パソコンモニターで色彩を観察し判断する事が必須の、デジタルフォトやデザインの現場では、色彩を正しく判定する環境作りが大切です。モニターをキャリブレーターを使って調整する方法はご存じの方も多いと思います。それ以上に重要なのが、パソコンのある環境の照明ですが、照明器具自体が特殊であったり、何を使えば良いか分からなかったりと、決して低いハードルではありませんでした。弊社では作業するスペース全体をリアルクス(写真右)照明し、印刷物とのマッチングをしています。しかし、直管しか存在しないためデスク周辺を適切に照明するには、器具の設置等面倒でした。

最近になって「高演色LED電球」と銘打った商品を目にするようになり、いくつかの製品を試してみました。その中で今回紹介するアイリスオーヤマ高演色LED電球は、期待を裏切りませんでした。価格も60W型で1350円程度と常識の範囲であり、リアルクスに近い光です。デスクの上約1mに60W型を設置するだけで、色評価用蛍光灯に近い



他社製高演色LED電球



アイリスオーヤマ高演色LED電球



色評価用蛍光灯

色彩で、モニターと印刷物を見比べることが可能でした。是非一度お試しください。大きな環境改善が期待できます。詳細は弊社ブログでお伝えします。



アイリスオーヤマ、高演色LED電球。  
Ra=97  
消費電=10.4W  
昼白色、60W型



Panasonic色評価用「リアルクス」

## Koyama



### 空と大地の間から

ドローン撮影が一般的になり、撮影アングルに死角は無くなったかのように、地上5mとかの中間的なアングルでの撮影が必要な場合が少なくありません。特に超広角を必要とするような状況では仕上がりが精度を含め必須といえます。

先日は岡山城の石垣を撮影してきました。道幅が狭く木立でドローンも入れない状況です。単純に見上げるのではなく石垣中程まで高さを上げて撮影しました。

弊社では最大6.5mで一眼レフを電動雲台でコントロールして撮影が可能です。

## Morita



讃岐うどん「かわはら」様の撮影をさせていただきました。3年前の西日本豪雨で全壊の被害にあいながら 3か月後には復活し真備の皆さんの食を支えておられます。

5月19日にすこし

離れた場所に店舗を新築され、写真撮影をさせていただきました。若い二代目が目指した温かくクールなお店を、薄暮の時間を選んでクールに仕上げってみました。弊社ではコロナ禍の飲食店を応援しております。写真のことならなんでもご相談ください。

## Kusuda



### 梅雨空の頃

家の紫陽花が今を盛りに咲いている。やっぱり紫陽花は、お天気が悪い時の方が美しい。ハイキーにもダークにも仕上げられる。

照りつける太陽のもとでは、表面がテカって色が出ないし、あつげらからんとして風情がない。

紫陽花の花言葉は、色によって『辛抱強い愛』『寛容』などがある。

高齢者のワクチン接種もだいぶ始まっていますが、今だからこそもう少し頑張らなくちゃと思う今日5月の頃でした。

## Mizuko



倉敷に用事があり、その足で美観地区を訪れました。その時、旅館から帰路につくお客様を、和服の女性が見送る場面に遭遇しました。彼女がお客様が見えなくなるまで

見送り続けたその姿に日本旅館のもてなす精神や誠意を感じ取り、「一事が万事」のことわざを想起しました。一つのことを見れば、他のすべてのことが推測できる。

我が身を振り返り心に留めようと思った出会いでした。